

上下水道一体となった改築・点検調査計画の策定を推進

上下水道管路の効率的な改築・点検調査に関する研究

新規：9.6百万円

概要

上下水道管路の効率的な改築・点検調査の実現に向け、水道管の劣化程度を概ね予測できる劣化予測式の構築と、これを活用した上下水道一体の改築・点検調査計画の策定方策を検討する。

背景

- ①水道整備・管理行政の国土交通省への移管
- ②上下水道の老朽管が急激に増加

目的

- ①水道管の劣化程度を概ね予測できる劣化予測式を構築
- ②上下水道一体となった改築・点検調査計画の策定方策を提案

目的を実現するための問題点

- ①水道管については、点検調査が困難であることや経過年数と劣化程度との相関が小さいことから、劣化程度を特定することが困難
- ②上下水道の改築・点検調査については、一体的に行う方が効率的だが、その優先度を定める手法が確立されていない

研究内容

- ①水道分野の知見収集及び管路の布設環境情報等収集
- ②水道における劣化予測式の検討
- ③上下水道一体となった効率的な改築・点検調査のための計画策定方策の検討

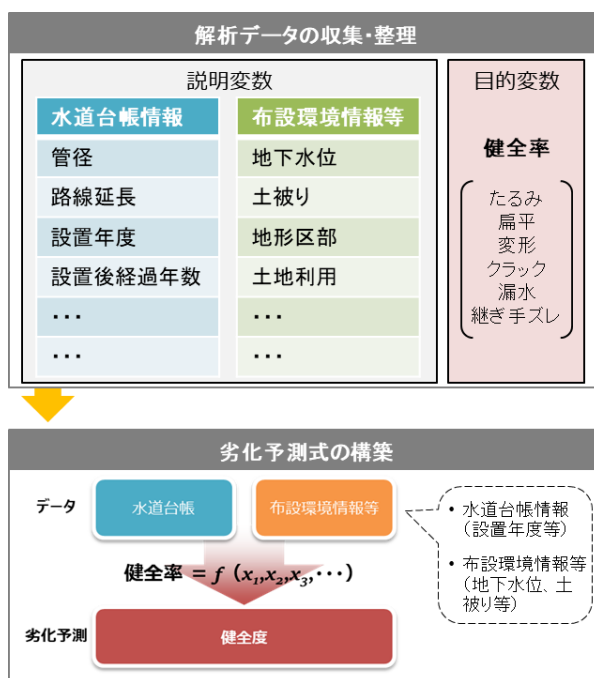


図1 水道における劣化予測式の検討

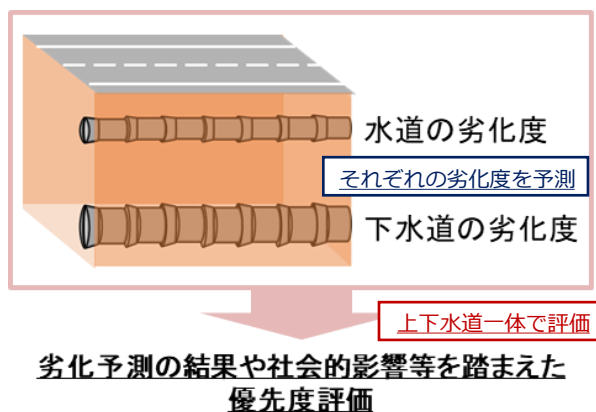


図2 上下水道一体となった改築・点検調査の優先度決定手法の検討

改築・点検調査の効率化による社会的影響やコストの低減等を実現

【問合せ先】

上下水道研究部 水道研究室長

田嶋 淳

TEL:029-864-7431